

日本臨床検査医学会 2020 年度 第 1 回 臨床検査専門医・管理医審議会 議事録

日時：2020 年 7 月 11 日（土）14：00～16：00

場所：日本臨床検査医学会 事務所、オンライン

出席（事務所）（3 名）：

- ✧谷直人（研修施設・指導者認定委員長）
- 三宅一徳（受験・更新資格審査委員長）
- 木村 聡（臨床検査専門医制度検討委員長）

出席（オンライン）（6 名）：

- 村上正巳（委員長）
- 東條尚子（副委員長）
- 山田俊幸（試験委員会、2020・2021 年度 臨床検査管理医試験実行委員会、日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会/医研修プログラム認定委員会 委員長）
- 東田修二（2020・2021 年度 臨床検査専門医試験実行委員長）
- 菊池春人（日本臨床検査専門医会代表）
- 橋口照人（教育委員長）

欠席（1 名）：

- 吉田 博（Subspecialty 検討小委員会委員長）

村上正巳委員長より開会宣言の後、議事を進行した。

1. 研修施設・指導者認定委員会報告（✧谷直人 委員長）

1) 2020 年 7 月 1 日付再認定について

再認定申請の該当施設が 8 施設について、すべて、基幹施設、あるいは臨床検査専門医卒後研修者が不在のため、再認定不要であることが報告された。

2) 認定研修施設認定終了のお知らせについて（✧谷直人 委員長、山田俊幸 専門医担当理事）

臨床検査専門医制度は、当学会の認定による学会認定専門医から日本専門医機構が認定する機構専門医に移行しつつあり、機構専門医の養成は 2018 年 4 月より開始され、2021 年からはその新規認定が行われる。これに伴い、学会専門医の養成は 2018 年 4 月以降の開始を終了しているため、2020 年 12 月 31 日をもって、日本臨床検査医学会認定研修施設の認定を終了し、すべての認定期間は、2020 年 12 月 31 日までとなる周知（案）が諮られ、承認された。

2. 受験・更新資格審査委員会報告（三宅一徳 受験・更新資格審査 委員長）

1) 第 37 回臨床検査専門医受験者 資格審査結果について

受験・更新審査委員会の審査結果に基づき新規受験希望者 23 名について審議され、1 名は卒後研修評価票の指導責任者の評価が低いことについて検討依頼がなされたが、受験資格には問題無しとなり、23 名の受験資格が承認された。

2) 第 12 回臨床検査管理医受験者 受験資格審査結果について

受験・更新審査委員会の審査結果に基づき審議され、受験希望者 35 名のうち、34 名は受験資格要件を満たしており、受験資格ありと承認された。

1 名については、推薦書を自身でサインしていることについて検討され、当人の勤務先が東海・北陸支部であるため、当人の希望があれば東海・北陸支部所属の常任理事がサインすることとなり、そのうえで、受験資格を満たすこととなった。

3) 2020 年 1 月 1 日付臨床検査管理医更新申請について

申請書類が遅れて 2020 年 1 月に提出された 2020 年 1 月 1 日付更新者 1 名について、申請単位は、昨年までに満たしていることが報告され、2020 年 1 月 1 日に遡って更新を認定することが承認された。

3. 試験委員会報告（山田俊幸 試験委員会 委員長）

2020年3月7日（土）にメール審議により第1回試験委員会・試験実行委員会を開催し、次項の通り確認した。

専門医認定試験出題方針については、筆記試験は6科目（一般臨床検査学/臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学/輸血学、臨床生理学、臨床検査医学/臨床病理学総論）、多肢選択問題計60題（各科目10題）と記述式問題。実技試験は5科目（臨床検査医学/臨床病理学総論以外）。口頭試問は1科目（臨床検査医学/臨床病理学総論）。なお、「臨床検査医学/臨床病理学総論」の中で、医療倫理、医療安全、遺伝子等として出題。

多肢選択問題10題中5題、記述式問題は1題、遺伝子と関係した倫理の出題を行うこと、判定基準については、得点配分は、筆記試験100点（MCQ50点、記述50点）、実技試験100点、合計200点とし、総合合格は、平均点60%以上で40点未満の科目なしとすること、来年度に向けて、機構専門医の試験方針、学会専門医未合格者への試験方針について、9月を目途に原案を作成し、年内に公表を目指すことが報告された。

4. 第37回臨床検査専門医認定試験 試験実行委員会報告（東田修二 試験実行委員会 委員長）

第37回専門医認定試験は、2020年9月12日（土）、13日（日）に、東京医科歯科大学で、初回受験者23名、再試験受験者2名で実施予定である。

2020年3月7日（土）に、メール審議により第1回試験委員会・試験実行委員会での確認事項が報告された。筆記試験と合格基準は、試験委員会報告のとおり、昨年同様である。そして、試験当日の運営の予定が示され、実技試験は、午前は一会場ですライド映写もしくは資料配付により行い、午後は3グループに分かれ一般/化学、血液バーチャル、面接を実施する。

6月28日（日）は、試験委員会・試験実行委員会の委員長、実行委員の領域責任者が出席し、試験問題の最終確認を行った。以上が報告された。

5. 第12回臨床検査管理医講習・認定試験 試験実行委員会報告（山田俊幸 試験実行委員会 委員長）

第12回臨床検査管理医講習・認定試験は、専門医試験と同時2020年9月13日（日）に、同会場の東京医科歯科大学において35名の受験者で実施予定であることが報告された。

6. 教育委員会報告（橋口照人 委員長）

2020・2021年度委員を、RCPC部門、Catch upセミナー部門、若手・女性の会部門と分けて選定したこと、第67回学術集会教育委員会企画の、RCPC、Catch upセミナーを検討しており、それぞれ、臨床検査領域講習として申請すること、第67回学術集会の企画より、e-learningの対象となるプログラムを検討していること、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、企画していた2020年5月30日（土）第76回関東甲信越支部例会に合わせて実施予定のRCPC、2020年7月17・18日鹿児島での医学教育学会公募ワークショップが中止となったこと、2020年7月5日（日）東京大学医学部附属病院と2020年7月12日（日）大阪大学医学部附属病院で開催予定していたハンズオンセミナーを中止したこと、今後、常設e-learningを検討していくことが報告された。

7. 臨床検査専門医関連事項について（山田俊幸 専門医担当理事）

1) 日本専門医機構専門医試験における統一基準

日本専門医機構より、専門医試験における実施時期、審査形式、合格基準が統一基準として示されたが、当学会が実施している内容とほぼ同じであるため、大きな変更なく実施ができることが報告された。

2) COVID-19 感染拡大影響による専攻医に向けた対応

日本専門医機構より出された、COVID-19感染拡大の影響による専攻医の研修期間、症例数、共通講習の受講、ローテーション、専門医試験についての対応について報告された。

3) 2020年1月1日付名誉臨床検査専門医の申請について

2019年1月1日付での申請可能者1名（93歳）より、名誉臨床検査専門医申請があったことが報

告され、2020年1月1日に遡っての認定が承認された。

8. Subspecialty 領域専門研修細則について（吉田博 Subspecialty 検討小委員会委員長欠席のため、山田俊幸 専門医担当理事）

日本専門医機構によりサブスペシヤルティ領域専門研修細則が示され、学会間で協議を開始するようにとのことである。吉田博 Subspecialty 検討小委員会委員長を中心に、当学会と合意しているサブスペシヤルティ専門医の学会と協議を進めていくことが報告された。

9. その他（村上正巳 委員長）

・2020年度臨床検査専門医・管理医審議会日程予定

2020年度の今後の開催日程の確認がなされた。

第2回：10月9日（金）10：30～12：00 学会事務所

第3回：12月26日（土）14：00～16：00 学会事務所